

令和2年度 事業報告書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

法人の名称 特定非営利活動法人あうん

1. 事業の総括

事業開始から9年、就労定着支援サービスの指定事業を受けてから2年半が経過しました。法人設立以来初めて赤字の収支結果となってしまったことを重く受け止め、これまで以上に健全な法人経営と安心安全な事業所運営ができるように意識してサービス提供を行った1年となりました。

一方で、新型コロナウイルスの勢いは収まることなく、緊急事態宣言が発令されたことにより世の中の動きが大きく変化しました。「3密の回避」「新しい生活様式」等の新たな文言が叫ばれ、日中支援活動の他、企業開拓や職場定着支援のための訪問等、今まで当たり前に行われていた活動にも大きな影響が出てしまい、不安や戸惑いが生じたことは否めません。世間に目を向けると、企業の倒産や大幅な赤字等々が増える中、当法人も前述の通り赤字を記録しました。ただし、原因を考察すると新型コロナウイルスの影響と直結するものではなく、一昨年度の実績がそのまま反映されていることと、職員の処遇の向上を図ったタイミングが重なったため、大きな数字となりました。

事業所運営においては、職員も利用者も『新型コロナウイルスを正しく怖がる』『就労支援の歩みを止めない』をキーワードに、安全性と快適性を追求してきました。一時的な利用時間の短縮や書面での注意喚起、対面を避けたレイアウト等を行いつつ、入室前の検温の他、早期にパルスオキシメーターの導入を行い、嗅覚味覚を含めた体調管理にも努めてきました。また、職員は出勤時や出張時は一般交通機関の利用を減らすよう心がけ、月に1度の抗体検査を行いながら新型コロナウイルス感染拡大の防止に向けた工夫と努力をしました。

未曾有の出来事に、利用者のお大半は通所に対する不安を強く感じていたそうです。同時に、中途利用者の中には新型コロナウイルスの感染拡大がきっかけとなり退職を余儀なくされた方も数名おり、当然のことながら障害者雇用を取り巻く環境は悪化し、企業側の障害者雇用に関する取り組みにも苦慮されている実態を知ることとなりました。

就労定着支援事業の対象者の中には、時短勤務や時差出勤、テレワークの実施等で職場環境が変わったり、一時休業により自宅待機を余儀なくされるケースが発生したり、支援者側の支援方法も臨機応変な対応を求められる場面が多くなりました。しかしその反面、私たちが目指したものは可能な限りご本人との直接対面支援であり、感染予防を徹底することを前提に対象者の働く現場を見たり直接面談をして、対象者の声に耳を傾ける支援を継続しました。

一般就労への移行者は10名となり、最低限の目標数値はクリアしました。上半期には法人設立時からの就労者がのべ100名を達成しました。さらには、新規企業を6社開拓できた実績はこのコロナ禍においても障害者雇用を着実に進めようとする企業の存在が明らかとなった事実であり、我々の活動方針である『オーダーメイドの支援』『きめつけない』『あきらめない』を軸として、ミッション達成のために大きな喜びであったと考えます。

令和3年度は、新型コロナウイルスに係る情勢や猛威は変わらず、むしろその波はさらに大きくなる事が予想されます。それでも私たちは、果敢にチャレンジすることを恐れず、より一層質の高い支援を目指していけるよう適正なサービス提供を展開し、法人設立10周年を迎えたいです。

2. 事業内容

(1) 法人に係る事業

(ア) 理事会・社員総会

開催日		場所
R2/5/17	第1回 理事会	法人事務所内
R2/5/22	第1回 社員総会	法人事務所内
R3/3/28	第2回 理事会	法人事務所内

(イ) 新型コロナウイルス感染予防対策

①抗体検査の実施

実施日	実施人数
R2/12/9	職員7名
R3/1/8	職員8名
R3/2/4	職員8名
R3/3/4	職員8名

②慰労金の申請、支給等

(法人)

実施月	内容	支給金額
1	法人から職員へ、新型コロナウイルス感染症対策慰労金（4月～12月分）の支給がされた。（1名当たり5,000～10,000円）	590,000円
3	法人から職員へ、新型コロナウイルス感染症対策慰労金（1月～3月分）の支給がされた。（1名当たり5,000～10,000円）	225,000円

(神奈川県)

実施月	内容	支給金額
12	令和2年度新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金の申請を行った。 （職員に対する慰労金支給、消毒液、飛散防止フィルム等の備品、公用車購入費用の一部に充てた）	656,000円
2	令和2年度新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金の申請（2回目）を行った。 （新型コロナウイルス抗体検査キットの追加購入に充てた）	110,000円

③JUNCTION厚木の事業運営上の対応

実施月	内容
通年	<ul style="list-style-type: none"> ・入室時、来客ならびに利用者への検温等基本的な体調確認の遂行。 ・アルコール消毒の設置、1日2回作業備品等の室内消毒の実施。 ・食堂、作業席の配置替え（対面での活動を極力なくした）を実施。 ・面談室に飛散防止フィルムを設置。 ・昼食時、食堂利用を2交代制にした。 ・来客名簿の連絡先記入項目を追加（万が一の時に備えた）。 ・神奈川県知事からのメッセージを、その都度読み上げて解説した。
4	・平日14日間を対象に一部の利用者に対し、通所を控えたサービスの提供を縮小。電話での聞き取り等を毎日行った。
5	・日中活動時間内に『日光浴（リフレッシュを含む）タイム』を導入。
3	・公用車の購入。

(ウ) 研修

実施日	内容	参加者
8/22	夢と感動を育む研修会 体験学習 フォレストアドベンチャー箱根	職員 7名
11/21	夢と感動を育む研修会 演劇鑑賞 劇団四季「ライオンキング」	理事 2名 正会員 2名 職員 6名

(エ) 障害者雇用に関する普及啓発事業

①ホームページ開設事業

事業内容	就労支援に関する情報提供を行い、事業所情報や活動内容、各種事業の案内を掲載。随時問い合わせを受け付け、対応できるようにする。 また経営情報を公表し、経営の透明性を確保する。
実施日時	通年

ホームページを閲覧し事業所内容の情報収集を行ったと来所した方から多くのお声を頂きました。特に多くの方が『情報公開』の『事業報告書』を閲覧しているとのことでした。

ホームページ内の『お問合せ』も活用していただき、施設見学の希望や求人応募等、複数回お問い合わせがありました。

(オ) 職場定着支援事業 (通年)

事業内容	障害者が職場により安定的にできるよう、利用者の希望に応じて有料にて就労先で職場定着支援を行う
実施場所	対象者の就労先（神奈川県を中心とした地域）
対象者	法人会員であり、職場での支援を求めている障害者

【支援実績】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
訪問回数 (延べ)	26	33	37	39	32	41	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計件数
訪問回数 (延べ)	45	44	42	48	44	54	485件

契約対象者数：84名

訪問頻度：毎月(約33%)、2ヶ月ごと(約21%)、3ヶ月ごと(約8%)、4ヶ月ごと(約1%)
半年(約2%)、その他(35%)

(カ) 奨励制度

- 目的：1. 対象者の就労を継続する意欲や労働生産性を高めるため
2. 就労継続年数に対する評価を形にするため
3. 対象者や家族、職員が次の目標に向かって再チャレンジするため

事業内容	・対象者には法人より祝い金と表彰状を贈呈する ・贈呈は、対象日から数えて1ヶ月以内とする
実施日時	随時
実施場所	JUNCTION厚木（事業所）内、本人の就労先
対象者	職場定着支援（有料）を契約し、規程の勤続年数を経過した者

【表彰者】33名

1年達成：8名（男性6名、女性2名）

3年達成：9名（男性3名、女性6名）

5年達成：9名（男性4名、女性5名）

7年達成：7名（男性5名、女性2名）

(2) 障害福祉サービスに関する事業

事業内容	就労移行支援事業 一般就労等への移行に向けて、事業所内や企業における作業や実習、適性に合った職場探し、就労後の職場定着のための相談や訪問などの支援を行う
実施日時	通年
実施場所	JUNCTION厚木（事業所）内 対象者の就労先（神奈川県を中心とした地域）
定員	20名

事業内容	就労定着支援事業 就労移行支援等を利用し、一般就労に移行した障害者の就労に伴う生活上の支援ニーズに対応できるよう、事業所・家族との連絡調整等の支援を一定の期間にわたり行う。
実施日時	通年
実施場所	JUNCTION厚木（事業所）内 対象者の就労先（神奈川県を中心とした地域）
定員（実績）	40名以下（27名）

(ア) 就労移行支援

【概要】

〈定員〉	20名
〈利用契約人数〉	24名（中途利用、退所あり）
〈利用者の性別〉	男性15名 女性9名
〈利用者の平均年齢〉	24.5歳
〈障害者手帳種別〉	療育手帳 (A2) 1名 (B1) 6名 (B2) 16名
※重複あり	精神障害者保健福祉手帳 (2級) 1名
	身体障害者手帳 (6級) 1名
〈日中生産活動内容〉	下請け作業、自主制作
〈職員数〉	常勤 6名（正規職員5名 非正規職員1名）
	非常勤 1名（非正規職員 1名）

【開所日数（職場定着支援対象者を除く）】定員：20名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
開所日数	22	21	22	23	23	22	
登録利用人数 (職場定着支援対象者を除く)	18	18	18	18	19	17	
1日当たりの利用者数	16.0	16.0	15.5	15.7	16.6	16.1	
延べ人数	351	336	340	361	382	354	
実績利用率(%)	88.6	88.9	85.9	87.2	87.4	94.7	
定員に対する利用率(%)	79.8	80.0	77.3	78.5	83.0	80.5	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	23	22	22	21	20	23	264
登録利用人数 (職場定着支援対象者を除く)	14	15	14	12	12	11	186
1日あたりの利用者数	14.0	14.7	11.6	10.3	10.6	10.1	14.0
延べ人数	322	323	254	216	212	232	3683
実績利用率(%)	100	97.9	82.5	85.7	88.3	91.7	89.9
定員に対する利用率(%)	70.0	73.4	57.7	51.4	53.0	50.4	69.5

【就労者数と入退所者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
就労者	0	1	0	0	0	4
新規契約者	8	1	0	1	1	0
退所者	0	0	1	0	1	1

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
就労者	0	0	3	1	0	1	10
新規契約者	1	1	0	0	1	0	14
退所者	0	0	0	0	1	1	5

※1 就労後、半年の定着支援期間を終え契約終了した方、就労アセスメント対象者を含む

【就労実績】10名

性別 (年代・障害種別)	採用年月日	産業分類	作業内容
男性 20代・知的	R2/5/1	その他の織物・衣服・ 身の回り品小売業	商品の前出しや品出し 簡単な接客 他
男性 20代・知的	R2/9/1	書籍・文房具小売業	書店における店頭業務全般
男性 10代・知的	R2/9/29	スポーツ用品・がん具・ 娯楽用品・楽器小売業	店舗内外の掃除および軽作業
女性 30代・知的	R2/9/30	食堂, レストラン (専門料理店を除く)	調理補助 食器洗浄 他
女性 20代・知的	R2/9/30	他に分類されない小売業	店舗内のペットの世話 ペット用品の販売
男性 10代・知的	R2/12/1	電子回路製造業	電子部品の入庫・検品作業 ピッキング
男性 20代・知的	R2/12/12	食堂, レストラン (専門料理店を除く)	食器洗浄 調理補助 他
男性 20代・知的	R2/12/22	すし店	洗い場作業 調理補助 その他軽作業
女性 20代・精神	R3/1/18	その他の織物・衣服・ 身の回り品小売業	商品の品出しや前出し 簡単な清掃他
男性 10代・知的	R3/3/16	遊戯場	ゲームセンター内の清掃 補助業務

【職場体験実習】17件

性別 (年代・障害種別)	実習月	日数	作業内容
男性 20代・知的	4	10	商品の前出しや品出し、簡単な接客他
男性 20代・知的	6	3	休憩室の消毒、消毒液の補充、ゴミ回収、その他清掃
男性 20代・知的	6～7	11	青果部門にて製造補助業務他
男性 20代・知的	7	8	商品整理、品出し他
男性 10代・知的	8	9	食器の洗浄、清掃、調理補助他
女性 20代・知的	8～9	13	清掃、品出し他
女性 30代・知的	9	8	調理補助、食器洗浄他
男性 10代・知的	9	6	清掃他
男性 20代・知的	10	2	倉庫内軽作業
男性 10代・知的	11	10	洗浄業務、店内外清掃、メニュー拭き、料理補充他
男性 10代・知的	11	5	資材の検品、ピッキング、組立作業に必要な設置等
男性 10代・知的	11～12	9	食器洗浄他
女性 20代・知的	12	8	調理補助、料理やドリンクの補充等
女性 10代・精神	12	5	商品の前出し、品出し他
男性 20代・知的	2	8	食品系の封入、製造補助、荷物の運搬等
男性 10代・知的	2	3	清掃
男性 20代・知的	3	9	調理補助他

(イ) 就労定着支援

【概要】

〈定員〉	40名以下
〈利用契約人数〉	27名
〈利用者の性別〉	男性14名 女性13名
〈利用者の平均年齢〉	23.7歳
〈障害者手帳種別〉	療育手帳 (A2) 2名 (B1) 5名 (B2) 19名
※重複あり	身体障害者手帳 (1級) 2名 (4級) 1名
〈活動内容〉	面談、会社訪問
〈職員数〉	常勤 4名 (正規職員 4名)

【利用実績】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
登録利用人数	25	25	25	26	23	25
利用人数	25	25	24	25	22	23
利用回数 (延べ)	27	27	25	28	26	24
平均利用回数	1.1	1.1	1.0	1.1	1.2	1.0
実利用率 (%)	108.0	108.0	104.2	112.0	118.2	104.3

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録利用人数	25	26	25	24	23	23	295
利用人数	25	26	25	24	23	22	289
利用回数 (延べ)	27	27	26	26	26	25	314
平均利用回数	1.1	1.0	1.0	1.1	1.1	1.1	1.1
実利用率 (%)	108.0	103.8	104.0	108.3	113.0	113.6	108.7

(ウ) 来所者数、相談件数

【来所者数】

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計 (名)
		来 所 者 内 訳	当事者	26	22	23	23	21	27	29	18	24	19	20
保護者	15		13	14	12	20	16	11	22	18	5	9	37	192
教員	4		2	10	8	3	9	11	8	13	9	3	11	91
福祉関係者	2		7	9	7	6	5	11	5	3	9	4	14	82
その他	2		3	4	5	6	2	5	4	9	11	2	12	65
合計(名)		49	47	60	55	56	59	67	57	67	53	38	103	711

※福祉関係者には、相談事業所、就労移行支援事業所、行政(福祉課)の関係者などを含む。

会社(特例子会社など)の関係者はその他に含む。

【当事者の利用相談件数】

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計 (件)
		件数		1	1	2	7	3	4	1	4	0	1	2

(エ) 福祉施設実習受入れ

新卒者【養護学校、高等専修学校、定時制、他】

	相談(希望)数	実施者数	受入判定	利用契約数
平塚養護学校	1	1	1	1
聖坂養護学校(専科)	1	1	1	1
生蘭高等専修学校	7	7	7	7
厚木清南高等学校(定時制)	1	1	0	0
4校	10名	10名	9名	新規9名

90%

既卒者【支援センター等、相談事業所、病院、行政、他】

	相談(希望)数	実施者数	受入判定	利用契約数
厚木市基幹相談支援センター(厚木市)	1	1	1	1
座間市基幹相談支援センター(座間市)	1	1	1	1
ケアーズ山藤(厚木市)	1	1	1	1
コールラビ(伊勢原市)	1	1	1	1
愛川町福祉支援課	1	1	1	1
5団体	5名	5名	5名	中途5名

100%

(オ) 工賃

月平均額：876円（平均月合計÷12ヶ月）

月 (支払人数)	4 (18名)	5 (18名)	6 (18名)	7 (18名)	8 (18名)	9 (17名)
最高支払額（円）	4290	630	510	5990	3760	170
最低支払額（円）	90	60	20	70	320	30
1人あたり平均支払額（円）	821	378	326	1,010	807	115
月 (支払人数)	10 (14名)	11 (15名)	12 (14名)	1 (12名)	2 (12名)	3 (11名)
最高支払額（円）	4,640	1,900	5,310	830	1,100	870
最低支払額（円）	600	800	200	110	310	280
1人あたり平均支払額（円）	1,646	1,607	1,956	468	838	534

※3月分は令和3年4月に支給する。

(カ) 生産活動

【下請け作業】

主な作業内容	場所
コットンテープ、ラベルの封入、封緘 他	藤沢市
DVDケースのクリーニング ケースのフィルムはがし、バリ取り	寒川町
箱折り、DVDのセット作業 キャラクターグッズ封入、封緘作業 他	厚木市
コネクタへの配線セット	厚木市
箱折り	厚木市

(キ) 余暇活動

【外出】 3回/年

実施日	目的地	参加者	移動
8/27	さあ行こう！わくわくどきどき 横浜・八景島シーパラダイス！！	利用者 9名 職員 2名	電車
11/12	秋の鎌倉・江ノ島散歩 見て、食べて、笑って、楽しもう！！ 鎌倉・江ノ島	利用者 15名 職員 3名	電車
3/31	東京スカイツリー&浅草観光	利用者 5名 職員 2名	電車

【旅行】 1回/年 (希望者)

実施日	目的地	参加者	移動
9/15～9/16	ハワイアンズ・温泉の旅 福島県	利用者 7名 職員 3名	レンタカー
11/17～11/18	日本最古・道後温泉旅行 ～坊ちゃんと千尋の神隠し!!～ 愛媛県	利用者 3名 職員 1名	飛行機 電車 バス
11/30～12/1	金沢で古都を堪能しよう！ 石川県	利用者 3名 職員 1名	飛行機 バス
3/16～3/17 (中止)	東京ディズニーリゾートで春を楽しもう 千葉県	利用者 6名 職員 2名	電車 バス
3/25～3/26	ユニバーサルスタジオジャパン&京都旅行 大阪、京都	利用者 4名 職員 2名	電車

【その他】就労を祝う会 開催場所：作業室

実施日	対象者性別・年代・障害種別	参加者
4/28	男性・20代・知的	利用者 18名 職員 6名
8/31	男性・20代・知的	利用者 16名 職員 7名
9/26	男性・10代・知的	利用者 16名 職員 7名
9/29	女性・20代、30代・知的	利用者 12名 職員 7名
9/29	女性・20代・知的	利用者 12名 職員 7名
11/26	男性・10代・知的	利用者 13名 職員 7名
12/8	男性・10代・知的	利用者 12名 職員 5名
12/17	男性・10代・知的	利用者 9名 職員 7名
1/14	女性・10代・精神	利用者 10名 職員 7名
3/15	男性・10代・知的	利用者 10名 職員 7名

(ク) 地震防災対策

〈委員会実施日〉

第1回 令和2年 6月18日(木)

第2回 令和2年12月17日(木)

〈防災訓練実施日〉

第1回 令和2年 7月21日(火)

第2回 令和2年 12月22日(火) 起震車体験

第1回地震防災訓練では、事業所内で地震が起きたことを想定し、避難経路の確認と防災用品の点検を行いました。災害時、どのような場面で防災用具を活用すると良いか利用者と確認しながら実施しました。

第2回地震防災訓練では、厚木市役所にて東海沖地震（震度6強）を想定した起震車体験を行いました。利用者からは、「本物の地震が来た時に起震車で練習しておくことでシミュレーションができた。」「起震車は初めて乗りました。最初はドキドキしました。怖かったです。」「自分の家の部屋に置いているもの等も見直さないといけないと感じました。」等の感想を述べていました。

今後、地震以外にも様々な災害に見舞われる可能性があるため、防災意識を高められる研修が実施出来るよう取り組んで行きたいと思っております。

(ケ) 研修

【所内職員研修】

実施日	内容	参加者
5/21	第1回 令和2年度虐待防止のための職員研修	職員 6名
7/14	幕張ワークサンプル (MSW) 活用方法習得のための研修 職業センター職員によるレクチャー	職員 3名
8/25	幕張ワークサンプル (MSW) 活用方法習得のための研修 利用者への導入における職業センター職員の現地指導他	職員 3名
10/2	新人研修 虐待防止のための職員研修	職員 1名
10/22	幕張ワークサンプル (MSW) 活用方法習得のための研修 事業所内における情報共有と体験会	職員 7名
10/23	幕張ワークサンプル (MSW) 活用方法習得のための研修 サンプルを使った職業センター職員によるレクチャー	職員 3名
2/18	第2回 令和2年度虐待防止のための職員研修	職員 8名

【利用者向け研修】

実施日	内容	参加者
7/2	令和2年度 防犯対策講習会 「自分でできる防犯対策」について (厚木警察署生活安全第一課 防犯係)	利用者 15名 職員 7名
7/16	令和2年度 保健教室 熱中症予防について (大塚製薬株式会社横浜支店 厚木出張所熊谷典昭氏による講座)	利用者 16名 職員 7名

② 就労支援に関する人材育成事業

(ア) 研修会等開催事業 「イズム@JCT」

目的：

1. 「就労支援、地域支援の在り方について考える」
2. 「実のある関係と連動を生み出すための、人的つながりを創出する」
3. 「次世代を担う若年層支援者の活動を促進する」
4. 「その他、構成員が必要と感じることを実行する」

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により『イズム@JCT』は未実施となりました。

しかし、年間を通して他事業所から実施予定の問い合わせを多く頂きました。

研修会内容を検討しているコアメンバーからは『イズム@JCT』に対する期待として、リモート等ではなく、対面での人との繋がりを大事にしたいという意見が多くあり、どのような形であれば実施出来るか検討を行ってきました。次年度では感染症対策を整えた上で、1回でも多くの実施が出来るよう準備を行っていきたいと思います。